

日西語の呼称の比較

—話者・聞き手・関係について—

上田博人

1. はじめに

人間のことばによるコミュニケーションには聞き手に対する何らかの配慮があらわれる。そうした配慮を直接反映する表現(「敬語」、さらに広く「待遇表現」)は日本語に限らず多かれ少なかれどの言語にも存在する¹。現代スペイン語においても聞き手を示す代名詞 *tú / usted* の使いわけや各種の人の呼び方(以下「呼称」とよぶ)、依頼表現、質問文²、さらに省略やイントネーションなどに待遇表現と考えられる現象は少なくない。

また、他方ではその語形の選択の条件について各言語(方言、個人)にそれぞれ異なった要因のパタンがあり、必ずしもすべて同一に扱えるわけではない。以下は筆者の行なったアンケートによる小調査に基づいて、日本語とスペイン語の「呼称」などの選択を要因と語形から比較したものである。

2. アンケートによる小調査

はじめに日本人(以下 J とする)男女、スペイン人(以下 S とする)男女の各々1人ずつ4人についてさまざまな場面で用いられる呼称を挙げてもらい、その中から次の調査のための語形と場(話者・聞き手・関係)を決めた(1980年3月初～4月初)³。

次に下に示すような質問票を用いてアンケート調査を行なった(同、4月初～5月末)。これは対象者(スペイン人)1人をお願いした48ケースの場の回答のうちの1ケースである。第一列が聞き手の設定で、そのすべての条件を満たす場合のことを考えている。つまり「男性(Varón)で大人で(Persona mayor)医者で(Doctor)、対象者よりも年上で(Mayor que Vd.)、かつ親しくよく知っている人(Muy conocido)」に対して、どのような呼称を用いるのかを質問している。右

¹ cf. 泉(1970), p.342～、ネウストプニー1974.

² cf. Beinhauer (1963).

³ J の語形には以下に扱われるもののほかに、「きみ」「あなた」「おまえ」などの代名詞、「行くんだい」「行くんだよ」などの述語があった。S には Francisquito, -illo, -ino, Francis, Paquillo, -ino, -ico; Curro, -ito, -illo, -ino, -ito等があった。Francisqu-の列は"normal", Paqu-の列は"familiar", Curr-の列は"vulgar"という特徴がある。

欄に語形(1. Paquito, 2. Paqui, ...)が並べてある。対象者が○で囲んだものを下の図では青色で示した。1は「けっしてそう言わない」(Nunca lo digo así)、2は「ときどきそう言う」(A veces lo digo así)、3は「いつもそう言う」(Siempre lo digo así)を意味する。

Se dirige a:	Forma	Nunca	A veces	Siempre
Varón	1. Paquito	1	2	3
Persona mayor	2. Paqui	1	2	3
Doctor	3. Paco	1	2	3
Mayor que Vd.	4. Francisco	1	2	3
Muy conocido	5. Pérez	1	2	3
	6. Sr.Pérez	1	2	3
	7. Don Francisco	1	2	3
	8. ¿A dónde vas?	1	2	3
	9. ¿A dónde va?	1	2	3
	10. ¿A dónde va Vd.?	1	2	3

質問票

聞き手の設定は、{性}、{年齢}、{職業}、{相対年齢}、{親疎1}の5つのアイテムのカテゴリーの可能な組み合わせ24ケースである。

	{性}	{年齢}	{職業}	{相対年齢}	{親疎}
1	男性	子供	なし	年下	親
2	男性	子供	なし	年下	疎
3	男性	若者	学生	年下	親
4	男性	若者	学生	年下	疎
5	男性	若者	学生	同年	親
6	男性	若者	学生	同年	疎
7	男性	若者	学生	年上	親
8	男性	若者	学生	年上	疎
9	男性	大人	サービス	年下	親
10	男性	大人	サービス	年下	疎
11	男性	大人	サービス	同年	親
12	男性	大人	サービス	同年	疎
13	男性	大人	サービス	年上	親
14	男性	大人	サービス	年上	疎
15	男性	大人	医者	年下	親
16	男性	大人	医者	年下	疎
17	男性	大人	医者	同年	親
18	男性	大人	医者	同年	疎
19	男性	大人	医者	年上	親
20	男性	大人	医者	年上	疎
21	男性	老人	サービス	年上	親
22	男性	老人	サービス	年上	疎
23	男性	老人	医者	年上	親
24	男性	老人	医者	年上	疎

組み合わせ24ケース

上の24のケースを [25] ~ [48] の{性}〈女性〉についても繰り返す。この

場合、スペイン語の語形は女性形にする。以下では男性形で代表する。語形は日本語16、スペイン語10である。対象者の構成は以下のようなになった【表1】)。方法は大部分郵送法により、一部直接面接して聞くこともした。

表1 対象者

		スペイン人	日本人
学生	男性	3	3
	女性	2	6
社会人	男性	4	6
	女性	6	3
計		15	18

3. 集計と分析

3.1. クロス集計表

表2と表3は属性カテゴリーと語形のクロス集計表である。左欄の各語形に示されている。－、＋、※はそれぞれ回答の1.「けっして言わない」(Nunca)、2.「ときどき」(A veces)、3.「いつも」(Siempre)の該当数である。

3.2. 順序関連係数

各枠の関連度(たとえば、Paquitoという語形の選択とく〈話者の性〉)を調べるためにグッドマンとクラスカルの順序連関係数(γ 係数)を出した(表4)⁴。これは数値の絶対値が高いほど関連が強いことを示す。また正であれば、属性アイテムの右にあるカテゴリーが当該の語形と一致し、また負であれば左のカテゴリーが語形と一致していることを示している。太字は絶対値が5以上であることを示す。

3.2.1. 話者の属性について

{話者の性} Jについて「名- ϕ 」「姓- ϕ 」のいわゆる「呼び捨て」が男性の話者に限られる。Sではあまり強く作用している語形はないが、Paquiが幾分〈女性〉によって使われる傾向がある。{話者の職業}については、Jでは「名-さん」が学生よりも社会人に多く使われ、また「名- ϕ 」は社会人に幾分多く使われる。Sでは目立った数値はない。

3.2.2. 聞き手の属性について

{聞き手の性}については、Jに「君」のつく2形が男性に対して使われ、また「呼び捨て」の姓の方が男性に多く使われている。一方、「名- ϕ 」は相手の性による区別はない。Sでは聞き手の性による語形の区別はない。{聞き手の年齢}はJ、Sともに大きく作用する要因である。Jでは、「名(短縮形)-ちゃん」

⁴ cf. 池田央『統計的方法(I)基礎』新曜社(1976), pp.130-132.

「名-ちゃん」「名-君」14.「行くの」は低年齢者に対して使われ、それに続いて、「姓-君」「名-φ」「姓-φ」「どこ」もその傾向がある。逆に「姓-先生」「どちらへ」「行かれるんですか」「いらっしゃるんですか」は高年齢者に対して使われる。しかし、これは〈年齢〉よりも〈職業〉の問題とも考えられる。

SではPaquito, Paqui, ¿vas? が低年齢者に対して用いられ、逆に Sr. Pérez, Don Francisco, ¿Vas?, ¿Va usted? が高年齢者に対して用いられる。{聞き手の職業}については大方{年齢}の事情と類似している。これには語形の選択以外にも、{年齢}と{職業}の間にある相関関係も考えなくてはならない。〈子供〉と〈無〉、〈若者〉と〈学生〉はそれぞれ一致するように設定した。

3.2.3. 話者と聞き手の関係について

{相対的性}{同性/異性}：Jで「姓-φ」が同性でよく用いられているが、これはクロス表を見ると男性どうしにしか用いられないことがわかる。ほかにはJ, Sともに大きな数値はない。

{相対的年齢}：これも先の{聞き手の年齢}(または{聞き手の職業})と同様の傾向が認められる。三者は「上下関係(目上/目下)」にまとめられる。

{親疎}：Jでは「名(短)-ちゃん」2.「名-ちゃん」「名-φ」10.「姓-φ」11.「どこ」14.「行くの」が〈親〉、一方、13.「どちらへ」がやや〈疎〉である。SではPaqui, Paco, ¿vas? が〈親〉、Pérez, Sr. Pérezが〈疎〉の関係に用いられる。

3.2.4. 全体

全体で比較的大きく作用している要因アイテムとして、{聞き手の年齢}、{聞き手の職業}、{話者と聞き手の相対的年齢}および{親疎}がある。この中で前3者は語形の選択が類似するのでまとめて「上下関係」と見ることができる。上下関係を{相対年齢}で代表させこれを縦軸とし、一方{親疎}の数値を横軸にとると図1が得られる。この図では、第I、III象限にしか分布されていない。よって、上→下と疎→親の間の平行関係が基本的に認められる⁵、しかし、さらに細かく見ると、次のことがわかる。

- (1) J「-先生」は上・下の軸では高位であるが、{親疎}についてはそれほど〈疎〉ではない。制度化された呼称であるためであろう。
- (2) 逆にJ「君」は上下の軸では低位であるが〈親〉しみはそれほど強くない。
- (3) S.Don Franciscoは〈上〉であるが強く〈疎〉ではない。
- (4) 逆にS. Sr. Pérezは〈疎〉であるが強く〈上〉ではない。
- (5) J「行くんですか」とS.Pérez, Franciscoは中性的である。

⁵ ただし、図1から例えば「姓-さん」や Don Francisco が必ず〈上〉×〈疎〉で用いられ、〈上〉×〈親〉では用いられない、と解すべきではない。もちろん、「姓-さん」や Don Francisco は、〈上〉×〈親〉にも選択されている。しかし全体としてみると、〈親〉よりも〈疎〉で用いられたケースの方が多い、ということである。個々のケースについての記述と考察は3.3と3.4で扱う。

表2 クロス集計 (日本語)

		話者		聞き手							関係											
		性別	職業	性別	年齢			職業	性別(相対)	年齢(相対)		観察										
					学	社	大			職	同		異	年	年							
																子	者	人	無	者	性	性
男	女	男	女	子	者	人	無	者	性	性	下	上	親	疎								
1. 名(短)	-	349	358	369	338	383	324	21	169	373	144	21	169	255	262	347	360	190	174	343	298	409
+cyan	+	45	44	35	54	30	59	25	29	35	0	25	29	18	17	52	37	53	21	15	69	20
※	※	38	30	28	40	19	49	26	18	24	0	26	18	15	9	33	35	45	21	2	65	3
2. 名+cyan	-	364	360	377	347	382	342	11	177	392	144	11	177	266	270	360	364	187	186	351	326	398
+	+	35	43	33	45	31	47	31	25	22	0	31	25	12	10	38	40	55	15	8	56	22
※	※	33	29	22	40	19	43	30	14	18	0	30	14	10	8	34	28	46	15	1	50	12
3. 名+kun	-	371	383	397	357	337	417	34	179	397	144	34	179	264	277	374	380	213	185	356	356	398
+	+	49	35	23	61	69	15	24	31	29	0	24	31	20	9	46	38	53	28	3	59	25
※	※	12	14	12	14	26	0	14	6	6	0	14	6	4	2	12	14	22	3	1	17	9
4. 名+san	-	323	368	394	297	366	325	59	151	350	140	50	151	236	254	352	339	207	169	315	325	366
+	+	91	49	32	108	51	89	17	53	66	4	17	53	41	29	66	74	64	41	35	85	55
※	※	18	15	9	27	15	18	5	12	16	0	5	12	11	5	14	19	17	6	15	22	11
5. 姓+kun	-	334	355	343	346	277	412	42	145	358	144	42	145	247	255	344	345	183	147	359	329	360
+	+	58	32	38	52	72	18	19	29	42	0	19	29	24	18	50	40	54	35	1	56	34
※	※	40	45	51	34	83	2	11	42	32	0	11	42	17	15	38	47	51	34	0	48	38
6. 姓+san	-	135	157	160	132	175	117	55	47	133	57	55	47	23	167	146	146	123	68	101	156	136
+	+	66	55	48	73	53	68	9	25	73	14	9	25	36	51	58	63	51	39	31	78	43
※	※	231	220	224	227	204	247	8	144	226	73	8	144	229	70	228	223	114	109	228	198	253
7. sense:	-	313	308	318	303	306	315	70	214	264	72	70	214	285	52	308	313	233	165	223	320	301
+	+	39	24	32	31	33	30	2	2	50	9	2	2	1	58	33	30	23	17	23	34	29
※	※	80	100	82	98	93	87	0	0	118	62	0	0	2	178	91	89	32	34	114	78	102
8. 姓+sense:	-	315	317	329	303	313	320	71	211	274	76	71	211	286	64	319	313	239	167	226	322	310
+	+	64	69	68	65	75	58	1	5	99	28	1	5	0	127	64	69	38	35	60	69	64
※	※	53	46	35	64	45	54	0	0	59	40	0	0	2	97	49	50	11	14	74	41	58
9. 名	-	384	423	415	392	406	401	59	193	411	144	59	193	278	277	399	408	260	189	358	376	431
+	+	39	7	15	31	22	24	11	18	17	0	11	18	8	9	27	19	25	19	2	45	1
※	※	9	2	2	9	4	7	2	5	4	0	2	5	2	2	6	5	3	8	0	11	0
10. 姓	-	392	432	417	407	393	431	68	194	418	144	68	194	282	280	393	431	270	195	359	397	427
+	+	25	0	9	16	24	1	2	14	9	0	2	14	3	6	24	1	13	11	1	22	3
※	※	15	0	6	9	15	0	2	8	5	0	2	8	3	2	15	0	5	10	0	13	2
11. フコ	-	227	197	230	194	217	207	5	73	230	116	5	73	145	201	212	212	84	80	260	147	277
+	+	101	126	98	128	124	102	25	72	105	24	25	72	80	49	99	127	90	60	76	113	113
※	※	104	110	104	110	91	123	42	71	97	4	42	71	63	38	121	93	114	76	24	172	42
12. フコへ	-	38	28	50	16	47	19	0	2	30	34	0	2	16	48	33	33	5	9	62	18	48
+	+	140	152	137	155	138	154	22	63	139	68	22	63	89	118	154	138	84	68	140	150	142
※	※	254	252	245	261	247	259	50	151	263	42	50	151	183	123	245	261	199	139	168	264	242
13. フナツへ	-	170	183	207	146	167	186	66	128	153	66	66	128	107	52	174	179	195	120	38	227	126
+	+	89	101	74	116	94	96	5	46	118	21	5	46	78	61	97	93	52	49	89	104	86
※	※	173	148	151	170	171	150	1	42	161	117	1	42	103	175	161	160	41	47	233	101	220
14. イクノ?	-	218	232	238	212	223	227	2	71	242	135	2	71	164	213	219	231	70	78	302	154	296
+	+	62	74	61	75	79	57	5	50	75	6	5	50	45	36	63	73	52	50	34	78	58
※	※	152	126	133	145	130	148	65	95	115	3	65	95	79	39	150	128	166	88	24	200	78
15. イクンデスカ?	-	147	125	161	111	139	133	44	51	108	69	44	51	62	115	148	124	97	57	118	141	131
+	+	138	137	112	163	145	130	19	66	147	43	19	66	92	98	134	141	90	70	115	146	129
※	※	148	170	159	159	148	170	9	100	177	32	9	100	134	75	150	168	101	80	128	145	173
16. イカレルンデスカ?	-	226	232	231	227	225	233	72	153	216	17	72	153	142	91	223	235	239	148	71	280	178
+	+	106	106	107	105	113	94	0	44	112	56	0	44	79	89	116	96	36	39	137	86	126
※	※	100	94	94	100	89	105	0	19	104	71	0	19	67	108	93	101	13	29	152	66	128
17. イラッシャルンデスカ?	-	250	219	245	224	228	241	72	167	220	10	72	167	155	75	223	246	242	156	71	279	190
+	+	76	78	60	94	72	82	0	28	104	22	0	28	62	64	80	74	31	37	86	70	84
※	※	165	135	127	113	132	108	0	20	108	112	0	20	71	149	129	111	15	23	202	83	157

表3 クロス集計 (スペイン語)

	話 者		聞 き 手							関 係					
	性	職業	性	年 齢			職 業	性(相対)	年齢(相対)		親 疎				
	男 女	学 社 生 会 人	男 女	子 若 大 老	無	学 サイ 医	同 異	年 同 年	下 年 上	親 疎					
1. 愛称+縮 小辞	- + ※	262 246 189 319 276 232 10 80 304 114 10 80 205 213 248 260	37 106 45 96 56 87 26 70 42 5 26 70 29 18 90 53	37 32 6 63 28 41 24 30 14 1 24 30 6 9 22 47	130 121 257 220 288	65 45 33 91 52	45 14 10 49 20								
2. 愛称+縮 小辞+(短)	- + ※	309 305 217 397 326 288 37 124 336 117 37 124 229 224 318 301	25 52 21 56 18 59 14 37 23 3 14 37 11 15 34 43	2 27 2 27 16 13 9 19 1 0 9 19 0 1 18 16	181 153 280 282 332	42 19 16 53 24	17 8 4 25 4								
3. 愛称	- + ※	193 156 136 213 134 215 20 48 192 89 20 48 118 163 154 195	91 153 83 161 143 101 28 81 109 26 28 81 81 54 140 104	52 75 21 106 83 44 12 51 59 5 12 51 41 23 66 61	93 76 180 125 224	95 63 86 140 104	52 41 34 95 32								
4. 名	- + ※	113 138 92 159 112 139 19 45 121 68 19 45 55 132 124 127	145 173 114 204 154 164 27 89 162 40 27 89 123 79 159 159	78 73 34 117 94 57 14 46 77 14 14 46 62 29 77 74	74 51 126 97 154	110 87 121 178 140	56 42 53 85 66								
5. 姓	- + ※	234 281 157 358 242 273 63 102 256 104 33 102 164 196 265 250	89 100 81 108 106 83 6 72 95 16 6 72 71 40 86 103	13 3 2 14 12 4 1 6 9 0 1 6 5 4 9 7	179 113 223 271 244	54 62 73 82 107	7 5 4 7 9								
6. Sr.+姓	- + ※	181 231 146 266 212 200 58 154 164 36 58 154 90 101 199 213	72 110 69 113 89 93 1 18 115 48 1 18 89 74 97 85	83 43 25 101 59 67 1 8 81 36 1 8 52 65 64 62	172 115 125 285 154	43 37 102 82 100	25 28 73 20 106								
7. Don+名	- + ※	214 211 152 273 214 211 59 174 175 17 59 174 122 70 217 208	42 106 53 95 76 72 1 5 103 39 1 5 79 63 72 76	80 67 35 112 70 77 0 1 82 64 0 1 39 107 71 76	192 129 104 249 176	32 31 85 70 78	16 20 111 41 106								
8. vas?	- + ※	131 159 92 198 152 138 1 5 192 92 1 5 141 143 139 151	42 61 34 69 46 57 3 22 58 20 3 22 40 38 49 54	163 164 114 213 162 165 56 153 110 8 56 153 59 59 172 155	55 60 175 79 211	31 25 47 61 42	154 95 79 220 107								
9. va?	- + ※	147 170 103 209 164 153 52 144 104 17 52 144 54 67 152 165	62 113 53 122 82 93 8 22 108 37 8 22 66 79 97 78	127 101 79 149 114 114 0 14 148 66 0 14 120 94 111 117	145 89 83 198 119	47 45 83 93 82	48 46 134 69 159								
10. va Vd.?	- + ※	168 194 151 211 181 181 55 147 142 18 55 147 85 75 183 179	51 110 55 106 76 85 5 24 99 33 5 24 69 63 80 81	117 80 34 163 103 94 0 9 119 69 0 9 86 102 97 100	162 107 93 219 143	44 36 81 86 75	34 37 126 55 142								

このように、上一疎、下一親の直線(図上の斜線)上から逸脱することが多く、このことは、{上下}、{親疎}の軸が完全に一致することがなく、よって、この両軸が説明に有効であることを示している。もし完全に一致してしまうのなら「丁寧さ」という一つの軸で統一してしまえる。

表4 順序連関係数 (日本語)

	話 者		聞 き 手			関 係		
	性	職業	性	年 齢	職	性 (相対)	年 (相対)	親疎
1. 名(短)+cyan	-0.072	0.225	0.432	-0.668	-0.545	-0.086	-0.626	-0.776
2. 名+cyan	0.025	0.249	0.330	-0.769	-0.670	-0.038	-0.740	-0.573
3. 名+kun	-0.115	0.389	-0.776	-0.707	-0.639	-0.056	-0.722	-0.417
4. 名+san	-0.301	0.638	0.275	-0.434	-0.339	0.094	-0.328	-0.287
5. 姓+ken	-0.120	-0.041	-0.840	-0.562	-0.424	0.006	-0.687	-0.199
6. 姓+san	-0.069	0.060	0.216	0.049	-0.234	-0.013	0.267	0.177
7. sense:	0.051	0.087	-0.047	0.714	0.970	-0.024	0.347	0.116
8. 姓+sense:	-0.020	0.166	-0.025	0.691	0.959	0.030	0.382	0.082
9. 名	-0.704	0.427	0.095	-0.580	-0.440	-0.166	-0.511	-0.969
10. 姓	-1.000	0.258	-0.954	-0.538	-0.392	-0.954	-0.475	-0.761
11. ドコ	0.094	0.110	0.087	-0.531	-0.469	-0.052	-0.534	-0.563
12. ドコへ	0.010	0.124	0.098	-0.413	-0.370	0.064	-0.352	-0.141
13. ドチラへ	-0.082	0.175	-0.087	0.671	0.578	-0.013	0.677	0.456
14. イクノ?	-0.084	0.090	0.023	-0.683	-0.572	-0.072	-0.697	-0.553
15. イクンデスカ?	0.101	0.109	0.065	-0.057	-0.077	0.095	0.001	0.088
16. イカレルンデスカ?	-0.028	0.023	0.005	0.640	0.545	-0.021	0.731	0.398
17. イラッシュルンデスカ?	0.141	0.033	-0.080	0.762	0.655	-0.097	0.771	0.369

表5 順序連関係数 (スペイン語)

	話 者		聞 き 手			関 係		
	性	職業	性	年 齢	職	性 (相対)	年 (相対)	親疎
1. 愛称+縮小辞	0.256	0.327	0.264	-0.758	-0.686	-0.021	-0.496	-0.416
2. 愛称+縮小辞+(短)	0.501	0.336	0.377	-0.692	-0.604	0.128	-0.472	-0.531
3. 愛称	0.254	0.277	-0.378	-0.421	-0.395	-0.162	-0.265	-0.489
4. 名	-0.071	0.169	-0.196	-0.230	-0.290	-0.019	-0.147	-0.246
5. 姓	-0.103	-0.192	-0.215	-0.220	-0.208	0.093	-0.021	0.178
6. Sr.+姓	-0.187	0.157	0.064	0.631	0.529	-0.060	0.380	0.555
7. Don+名	0.076	0.155	0.026	0.841	0.775	0.045	0.601	0.402
8. ¿va?	-0.078	-0.057	0.043	-0.812	-0.658	-0.076	-0.478	-0.579
9. ¿va?	-0.104	-0.001	0.032	0.681	0.512	-0.024	0.397	0.430
10. ¿va Vd.?	-0.116	0.378	-0.020	0.709	0.576	0.020	0.459	0.422

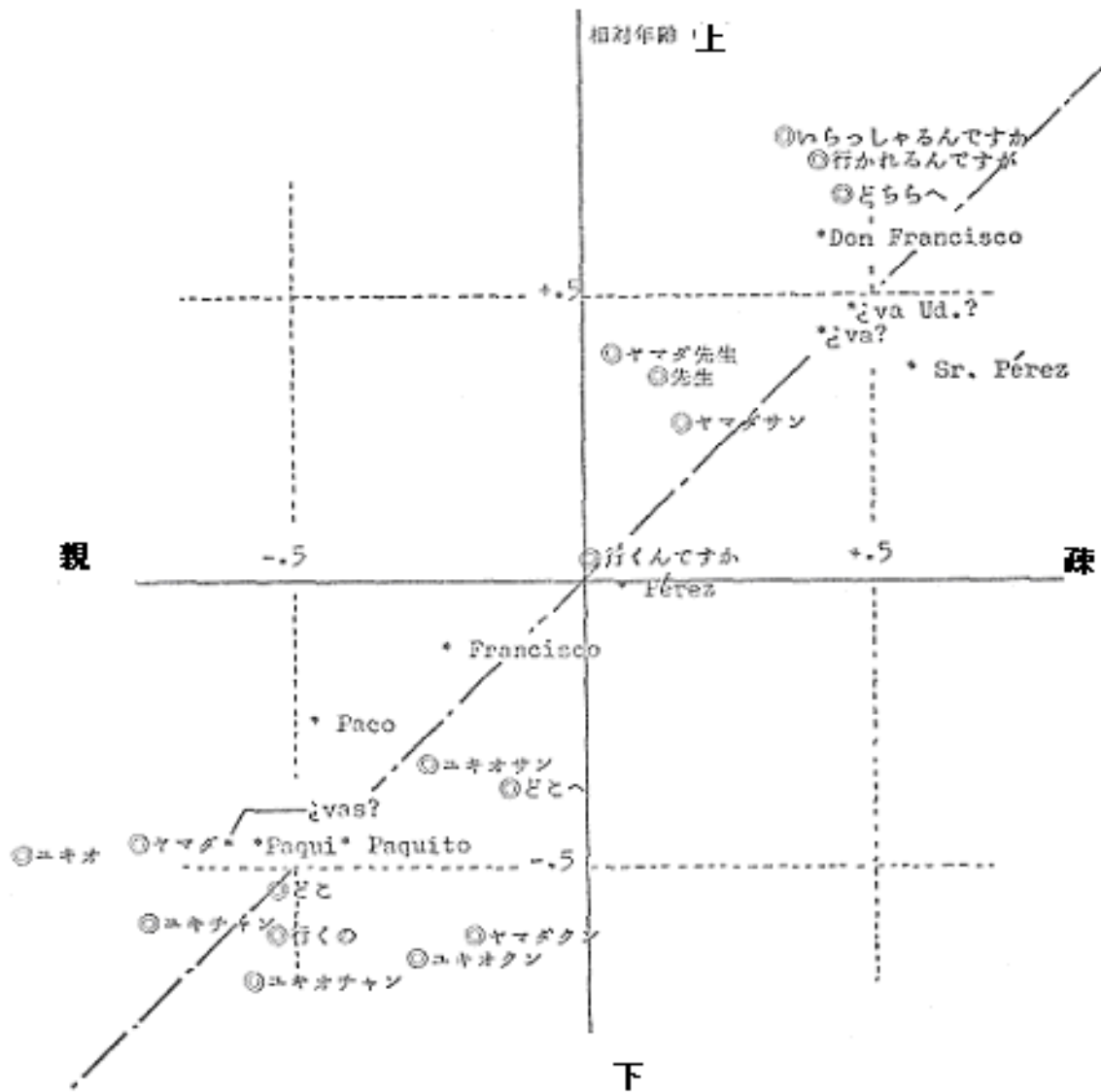


図1 相対年齢と親疎

3.3. 平均値

先に見たように{話者の性}、{話者の職業}は一部の日本語の語形を除いてあまり強く作用する要因ではない。よってここでは、J, Sそれぞれの平均化したパターンで両言語の語形の選択要因を比較してみよう。比較の対象は形態素の構成が類似したものである。それらはスペイン語教育・学習や翻訳などでも単純に結びつけられている対である。

3.3.1. J. -ちゃん、-君 vs S. Paco、-ito、

S. Paco がかなり広範囲に使われている。J で広く使われているのは5「姓-君」であるが相手が男性に限られる。「名-ちゃん」「名(短)-ちゃん」は女性に対して多く使われる。そのほかは〈子供〉または〈若者〉(〈学生〉)で用いられる。この条件を同一にしてJ, Sの各語形のケース(1-8、25~32)を比べると以

下のようになる。

表6 比較：子供・若者

			名(短い)-ちゃん						
			名-ちゃん	名-ちゃん	名-ちゃん	姓-ちゃん	Paquito	Paqui	Paco
男性	上	親					+		+
男性	上	疎							+
男性	同~下	親	+	+	+	+	+	+	+
男性	同~下	疎		+	+	+	+		+
女性	上	親					+	+	+
女性	上	疎							+
女性	同~下	親	+	+			+	+	+
女性	同~下	疎	+	+			+	+	+

J は〈上〉対〈同・下〉の別がはっきりしている。一方、S では〈上〉において〈親〉と〈疎〉の対立が見られる。

3.3.2. J. 姓-φ vs. S. 姓-φ

両者とも頻度が低い。ケースはまったく一致しない。J では〔男・若・学・同~下、親〕であるのに、S では〔男・若・学・同~上・疎〕、または〔男・大・サ・同~下・疎〕、または〔女・若・学・上・疎〕。J は〈親〉であるのに対し S は〈疎〉である。日本人が姓の呼び捨てを用いることのできる間柄であっても、その習慣をそのままスペイン語話者に移すことはできない。

3.3.3. J. 名-φ vs. S. 名-φ

J は稀であるが、S は全呼称中最大の頻度である。J では〔男~女・若・学・同・親〕でのみ用いられる呼称にすぎない。日本人がスペイン人に名をそのまま呼ばれるのに異和感を持つことがあるのはこうした分布の違いによるものと考えられる。Franciscoは最も普通の呼称であるのに対し、J の「呼び捨て」は限られた人間関係のもとでしか用いられない特殊な呼称である。また、J では名でも姓でも「呼び捨て」は類似した分布を示すが、S では名-φと姓-φの意味が大きく異なることにも注意したい。

3.3.4. J. 姓-さん vs. S. Sr. 姓 etc.

J で最も広く使われているのが「姓-さん」であり、これは使用域の大きさから見ればS. 名-φ に対応する。しかし分布は J が目上の方に、S が目下の方に幾分片寄っている。しかし一般に J 「姓-さん」は、S. Sr.-姓に対応づけられることが多い。その他関連の呼称も入れて単純化して示すと表7のようになる。ここで〔男~女・大・サ~医〕の条件は固定してある(ケース9~24;33~48)。S.

Sr.-姓は、〈上〉に多く用いられ、また{親疎}で見ると〈疎〉に多く用いられている。

表7 比較

		姓-さん	Francisco	Sr. Pérez	Don. Francisco
上	親	+	+	+	+
上	疎	+		+	+
同~下	親	+	+		
同~下	疎	+	+	+	

3.3.5. J. 敬語、「きみ、あなた」 vs. S. tú / usted

文法カテゴリーで比較するならば、S. tú / usted に対応する J の代名詞は、「きみ」「あなた」であろう。しかしケースについてみると表8のような分布となり⁶、(部分的に)一致するのは〈同~下〉のときだけで、目上に対してはまったく一致しない。S. tú / usted の選択の諸ケースと一致するのはむしろ人称代名詞以外の語形(「どこ/どちらへ」、「行くの/行かれるんですか~いらっしゃるんですか」)である。J「どこへ」と「行くんですか」は広範囲に用いられている。J「どこ、行くの」とS. ¿vas? は大方一致する。しかし、[8] [32]の[男~女・学・上・疎]で J は敬語体の方を用いるが、S では¿vas?である。J で〈上〉×〈疎〉が、S で〈学〉というカテゴリーが作用したものと考えられる。つまり、S では学生であるならば、たとえ年上でも tú で話すのであろう。

表8 比較

		きみ	あなた	tú	usted
上	親			+	
上	疎				+
同~下	親	+	(+)	+	
同~下	疎	(+)	(+)	+	+

[19] [21] [23] [43] [45] [47] の〈上〉×〈親〉では J で「行くの?」は用いられないが、S で¿vas?となる。J は上下で、S は親疎で判断しているようである。ほかに [15] [男・大・医・下・親] で J は敬語体を用いている点や、逆に [33] [34] [35] の[女・大・サ・下~同・親~疎]で普通体を用いている点など、J が{職業}を重視していることを示している。

⁶ 「きみ」「あなた」の選択については別に調査した結果である。()は頻度の低いことを示す。

3.4. パターン分類

これまでは、語形と属性カテゴリー(ケース)間の関係を別個に取り扱ってきたが、ここでは全体のパターンを分類する。属性のケースについては、その語形の選択が似ているものを近くに配置し、一方語形については、その選ばれるケースの似ているものを近くに配置するようにパターン化する。具体的には行列の対角線部分になるべく多く反応した要素(+印)が集中するように語形とケースの順位を決める。この方法によって末尾に示した図2からは図3(Jの場合)、図4からは図5(Sの場合)のような結果が得られる。

これで反応の似たものどうしが寄せ集められたが、縦列も横行も一定の順位がある。横行について見ると、Jの場合9→7の順で語形が並んでいる、もし、この語形の順位を「丁寧さ」と呼んで誤りがなければ、1→24のケースも丁寧さを要求する属性の順位を示しているものと考えられる、I～Vにグルーピングすると、Iの諸ケースはより丁寧さの低い語形を選んでいるし、一方、Vでは、その高い語形を選んでいる。Sの場合も同じである。以下では横行の語形の順位が「丁寧さ」を示す、という仮定の上で、縦列の属性の諸ケースについて日西両語の比較を行なう。

3.4.1. {相対年齢}と{親疎} (A)

表9は各ケースについて両言語の丁寧さのグループを比較し、その相対的な上下関係を不等号で示したものである。不等号の数は食い違いの段階数を表わす。Aは、{相対年齢}が〈上〉、{親疎}が〈親〉であるケースに+をつけて示したものである。ここではすべての場合に、「」の方で丁寧な表現が用いられている(>、>>または>>>)で示されている。Jでは親しい人間であっても年上であるならば丁寧な語形を用いるが、Sでは逆に{親疎}の方が重視されると考えられる。

3.4.2. {職業}と{親疎} (B)

Bに示されたケースは〔医、同～下、親〕である。Jではより丁寧な表現が使われるが、Sでは普通体である、Jで{職業}〈医〉が、Sで{年齢}、{親疎}が作用している。

3.4.3. 〈女性〉 (C)

Sに比べてJの方が〈女性〉に対して比較的丁寧な表現が用いられる。とくに4<>28、6<>30などで男女差が強く表われている。Sでは、少なくとも呼称、tú / ustedの使い分けについては、相手の性によって丁寧さが異なるケースはあまりない。

表9 ケースの比較

ケース	J	S	A	B	C	D	E	F
1	男	子	無	下	親	I	I	
2	男	若	無	下	疎	II	II	
3	男	若	学	下	親	I	I	
4	男	若	学	下	疎	II >	II	
5	男	若	学	同	親	I	I	
6	男	若	学	同	疎	II >	II	
7	男	若	学	上	親	IV >>	II	+
8	男	若	学	上	疎	V >>>	II	+
9	男	大	サ	下	親	II <	III	
10	男	大	サ	下	疎	III	II	
11	男	大	サ	同	親	II <	II	
12	男	大	サ	同	疎	IV >	II	
13	男	大	サ	上	親	IV >	II	+
14	男	大	サ	上	疎	V >	IV	
15	男	大	医	上	親	IV >	II	
16	男	大	医	上	疎	V	V	
17	男	大	医	同	親	IV >	II	
18	男	大	医	同	疎	V	V	
19	男	大	医	上	親	V >	II	+
20	男	大	医	上	疎	V	V	
21	男	老	サ	上	親	V >	II	
22	男	老	サ	上	疎	V >	IV	
23	男	老	医	上	親	V >	IV	
24	男	老	医	上	疎	V	V	
25	女	子	無	下	親	I	I	
26	女	子	無	下	疎	II >	I	
27	女	若	学	下	親	II >	I	
28	女	若	学	下	疎	IV >	II	
29	女	若	学	同	親	II >	I	
30	女	若	学	同	疎	IV >	II	
31	女	若	学	上	親	IV >>>	I	
32	女	若	学	上	疎	V >	II	
33	女	大	サ	下	親	II	II	
34	女	大	サ	下	疎	IV >	III	
35	女	大	サ	同	親	II	II	
36	女	大	サ	同	疎	IV	IV	
37	女	大	サ	上	親	IV >	II	
38	女	大	サ	上	疎	V >	IV	
39	女	大	医	下	親	IV >	II	
40	女	大	医	下	疎	V	V	
41	女	大	医	同	親	IV >	II	
42	女	大	医	同	疎	V	V	
43	女	大	医	上	親	IV >	III	
44	女	大	医	上	疎	V	V	
45	女	老	サ	上	親	IV >	III	
46	女	老	サ	上	疎	V	V	
47	女	老	医	上	親	V >	IV	
48	女	老	医	上	疎	V	V	

3.4.4. 〈学生〉(D)

次の表10が示すように、S ではほとんどの場合 I~II (ただ1つ [32] でIII)であるが、J では I~V まで丁寧さが区別されている。それぞれ、斜線の左が相手が男性の場合を示し、右が相手が女性の場合を示す。

表10 〈学生〉

		J	S
同～下	親	I / II	I / I
同～下	疎	III / IV	II / II
上	親	IV / IV	II / I
上	疎	V / V	II / II

3.4.5. 〈老人〉 (E)

J では全体に丁寧、Sでは {職業} と {親疎} で左右される。

表10 〈学生〉

		J	S
サービス	親	V / IV	III / III
サービス	疎	V / V	IV / V
医者	親	V / V	IV / IV
医者	疎	V / V	V / V

3.4.6. 〈サービス〉 (F)

J では{相対年齢} と {親疎} で区別されているが、Sでは選択が一様である

表12 〈サービス〉

		J	S
同～下	親	II / II	II / II
同～下	疎	III, IV / IV	III / III, IV
上	親	IV / IV	III / III
上	疎	V / V	IV / IV

4. まとめ

呼称と質問形式の使用の違いから、日本語話者とスペイン語話者の相手を敬う気持ちについて知ることは可能であろうか。中根(1967: 90-91)は次のように述べている。

「ロンドン大学では教授・助教授・講師は一括していわゆる『コリーグ』(同僚)であり、同じ科の同僚は先輩・後輩の区別なく、ファースト・ネームで呼び合っている。彼らは第三者(学生など)のいる前では、プロフェッサーとかドクターを使い、ファースト・ネームではお互いに呼ばないが、いったん同僚だけになると、ファースト・ネームとし、同僚のよしみ、親しさ、リラックスした雰囲気、異質のものが入らない同類の世界をもつものである。彼らの社会では、組織の構造指標となるものは『タテ』につながる序列ではなく、『ヨコ』につながる階層的な分類である。こうした構造をもつ社会では同僚意識が強く、そこに連帯性が生まれ、反対に、そのなかでの序列意識はきわめて低調となるのである。」

この「タテ」－「ヨコ」の観点から日・西両語の呼称・その他の選択についても図式化することができる。日本語の語形の選択にはタテ社会の判断が働き、スペイン語では逆にヨコ社会の判断が働いていると解される点が多く見られる。しかし、語形の選択から、話者の社会的関係、対人関係の心理を直接考察することは可能であろうか。辻村(1977:48)は次のように述べている。

「今日の敬語の使いざまを見ると敬語が真に敬意を以て用いられていることはむしろ稀であり、それは上下、親疎、恩恵の授受等々の関係によって用いられているのである。(…)表現主体は必ずしもいわゆる敬意を持っているとは限らないのである。そこで、敬意の有無と敬語使用とは別のことであるとする考えも出て来るのであるが、それは敬語といわゆる敬意とは必ずしも関係がないというように理解すべきことと思われる」

敬語についても、他の言語形式と同様に「形式」(signifiant)とその「意味」(signifié)の関係が「恣意的」(arbitraire)である、といえる。しかしその両者の関係が言語社会のなかで一度慣用化すれば、そこに人間関係の上でルールが存在することになる。話者の意図(敬意)とは別に表現される「敬語」も、その効果から敬意についての評価がなされるのである。このように考えられるならば、話者の考え方や性格、国民性を別に置くとしても、呼称その他の待遇表現の運用の効果を探ることは可能であろう。そしてとくに外国語教育の見地から見ると、語形の選択が及ぼす異なる効果(評価)が存在し、選択の要因も言語間で大きく異なっているため、その対照分析が必要である。

小論は小規模のアンケートの結果を分析したものであり試験的なものにすぎない。日西両語の呼称を含めたさらに広範囲の待遇表現・待遇行動については、さらに考察を続けなければならない。

〔付記〕本稿は1980年5月25日、東京外国語大学で行なわれた「合同スペイン語学研究会」での発表を文章化したものである。参会者の助言と批判を一部採用させていただいた。人文科学研究室の井上史雄助教授にはアンケートの方法と分析法について大変有益な助言をいただいた。またアンケートにとっても好意的に協力していただいた日本とスペインの方々感謝いたします。

参考文献

I. 一般

BROWN, Roger and A. GILMAN. 1968. "The Pronouns of Power and Solidarity", J. A. Fishman (ed.) *Readings in the Sociology of Language*. The Hague: Mouton.

ERVIN-TRIPP, S.M. 1972. "Sociolinguistic Rules of Address", Pride J. B, et al. (eds.) *Sociolinguistics*. Penguin Books.

泉井久之助. 1970. 『言語の世界』筑摩書房。

ネウストプニー. 1974. 「世界の敬語」『敬語講座8』pp. 7-40.

II. スペイン語

- BEINHAUER, Werner. 1963. *El Español Coloquial*. Madrid: Gredos.
- KIDDLE, Lawrence B. 1956-57. "A Suggestion for teaching the Spanish *Tuteo*", *Language Learning*, 7: 3-4 pp. 25-34.
- KELLER, Gary D. 1975. "Spanish *tú* and *usted*: Patterns of interchange", Milan William G. et al. (eds.) 1974 *Colloquiums on Spanish and Portuguese Linguistics*. George Town University Press. pp.84-96.
- FOX, J. 1969. "The Pronouns of Address in Spanish", *Actes de X^e Congrès International des Linguistes*. Bucarest. pp. 685-693.
- LAMBERT, Wallace E. and TUCKER, G. Richard. 1969. *Tu Vous, Usted: A Social-Psychological Study of Address Patterns*. Rowley, Mass.: Newbury House Publishers.
- MARIN, Diego. 1972. "El uso de *tú* y *usted* en español actual", *Hispania*, 55, pp. 904-908.
- SOLÉ, Yolanda. 1970. "Correlaciones socio-culturales del uso de *tu / vos* y *usted* en la Argentina, Perú y Puerto Rico", *Thesaurus* (BICC) t. 35, pp. 161-195.
- SOLOGUREN, Javier. 1954. "Fórmulas de tratamiento en el Perú." *Nueva Revista de Filología Española*, 8, pp. 241-267.
- WAINERNAN, Catalina. 1976. *Sociolingüística de la forma pronominal*. México: Editorial Trillas.

III. 日本語

- 井上史雄. 1974. 「若者の敬語行動」月刊『言語』vol. 8, No.6, 大修館。
- 国立国語研究所. 1971. 『待遇表現の実態』秀英出版。
- 南不二男. 1974 「現代敬語の意味構造」『国語学』96.
- _____. 1977. 「敬語の機龍と敬語行動」『岩波講座日本語4』pp.1-44.
- 野元菊雄. 1977. 「企業内における敬語行動」『日本語と文化・社会(2) ことばと社会』p103-140.
- 大石初太郎. 1968 「敬意の度含いの測走」『月刊文法』(1978)『論集, 日本語研究(9)敬語』pp.166-173に再録.
- 辻村敏樹. 1977. 「日本語の敬語の構造と特色」『岩波講座日本語4』pp. 45-94., 尾崎秩子・御園生保子・藤田克彦・荻野綱男. 話者の属性から見た敬語の使い分け一札幌における敬語調査から一『国語学』120, 左1-12.

	1. 名(短縮)-ちゃん	2. 名-ちゃん	3. 名-君	4. 名-さん	5. 姓-君	6. 姓-さん	7. 姓-先生	8. 名	9. 姓	10. どこ	11. どこへ	12. どちらへ	13. 行くの?	14. 行くのですか?	15. 行かれるのですか?	16. いらっしゃるのですか
1. 男性・子供・なし・年下・親	+	+	+	+					+	+			+			
2. 男性・子供・なし・年下・疎		+	+	+	+	+			+	+			+	+		
3. 男性・若者・学生・年下・親	+		+		+			+	+	+			+	+		
4. 男性・若者・学生・年下・疎					+	+			+	+	+		+	+		
5. 男性・若者・学生・同年・親			+				+	+	+	+			+	+		
6. 男性・若者・学生・同年・疎					+	+			+	+	+		+	+		
7. 男性・若者・学生・年上・親				+		+			+	+	+		+	+	+	+
8. 男性・若者・学生・年上・疎						+				+	+		+	+	+	+
9. 男性・大人・サービス・年下・親			+	+	+	+			+	+			+	+		
10. 男性・大人・サービス・年下・疎					+	+			+	+	+		+	+		
11. 男性・大人・サービス・同年・親			+		+	+			+	+			+	+		
12. 男性・大人・サービス・同年・疎						+			+	+	+		+	+	+	
13. 男性・大人・サービス・年上・親						+			+	+	+		+	+	+	+
14. 男性・大人・サービス・年上・疎						+				+	+		+	+	+	+
15. 男性・大人・医者・年下・親					+	+	+		+	+	+		+	+		+
16. 男性・大人・医者・年下・疎						+	+			+	+		+	+	+	+
17. 男性・大人・医者・同年・親					+	+	+		+	+	+		+	+		
18. 男性・大人・医者・同年・疎						+	+			+	+		+	+	+	+
19. 男性・大人・医者・年上・親					+	+			+	+	+		+	+	+	+
20. 男性・大人・医者・年上・疎					+	+			+	+	+		+	+	+	+
21. 男性・老人・サービス・年上・親						+				+	+		+	+	+	+
22. 男性・老人・サービス・年上・疎						+				+	+		+	+	+	+
23. 男性・老人・医者・年上・親							+			+	+		+	+	+	+
24. 男性・老人・医者・年上・疎							+				+			+	+	+
25. 女性・子供・なし・年下・親	+	+							+	+			+			
26. 女性・子供・なし・年下・疎	+	+		+	+				+	+			+	+		
27. 女性・若者・学生・年下・親	+	+		+	+				+	+			+	+		
28. 女性・若者・学生・年下・疎					+				+	+	+		+	+		
29. 女性・若者・学生・同年・親	+	+			+		+		+	+			+	+		
30. 女性・若者・学生・同年・疎					+				+	+	+		+	+		
31. 女性・若者・学生・年上・親				+	+				+	+	+		+	+		
32. 女性・若者・学生・年上・疎					+					+	+		+	+	+	+
33. 女性・大人・サービス・年下・親	+	+			+				+	+			+	+		
34. 女性・大人・サービス・年下・疎					+				+	+	+		+	+		
35. 女性・大人・サービス・同年・親	+	+			+				+	+	+		+	+		
36. 女性・大人・サービス・同年・疎					+				+	+	+		+	+	+	+
37. 女性・大人・サービス・年上・親					+				+	+	+		+	+	+	+
38. 女性・大人・サービス・年上・疎					+					+	+		+	+	+	+
39. 女性・大人・医者・年下・親	+	+			+	+			+	+	+		+	+		
40. 女性・大人・医者・年下・疎					+	+				+	+		+	+	+	+
41. 女性・大人・医者・同年・親	+			+	+	+			+	+	+		+	+		
42. 女性・大人・医者・同年・疎					+	+				+	+		+	+	+	+
43. 女性・大人・医者・年上・親					+	+			+	+	+		+	+	+	+
44. 女性・大人・医者・年上・疎					+	+				+	+		+	+	+	+
45. 女性・老人・サービス・年上・親					+				+	+	+		+	+	+	+
46. 女性・老人・サービス・年上・疎					+					+	+		+	+	+	+
47. 女性・老人・医者・年上・親							+			+	+		+	+	+	+
48. 女性・老人・医者・年上・疎							+			+	+		+	+	+	+

図-2 平均のパターン (日本語)

SEL:3

	9. 姓	8. 名	3. 名-君	2. 名-ちゃん	1. 名(短縮)-ちゃん	4. 名-さん	5. 姓-君	13. 行くの?	10. どこ	6. 姓-さん	11. どこへ	14. 行くのですか?	12. どちらへ	15. 行かれるのですか?	16. いらっしゃるのですか?	7. 姓-先生
1. 男性・子供・なし・年下・親			+	+	+		+	+	+							
5. 男性・若者・学生・同年・親	+	+	+				+	+	+							
25. 女性・子供・なし・年下・親				+	+			+	+							I
3. 男性・若者・学生・年下・親	+		+				+	+	+							
2. 男性・子供・なし・年下・疎			+	+		+	+	+	+	+	+	+				
29. 女性・若者・学生・同年・親		+		+	+			+	+	+	+	+				
27. 女性・若者・学生・年下・親				+	+	+		+	+	+	+	+				
26. 女性・子供・なし・年下・疎				+	+	+		+	+	+	+	+				
9. 男性・大人・サービス・年下・親			+			+	+	+	+	+	+	+				II
33. 女性・大人・サービス・年下・親				+	+			+	+	+	+	+				
35. 女性・大人・サービス・同年・親				+	+			+	+	+	+	+				
11. 男性・大人・サービス・同年・親			+					+	+	+	+	+				
31. 女性・若者・学生・年上・親						+		+	+	+	+	+	+			
10. 男性・大人・サービス・年下・疎								+	+	+	+	+	+			III
6. 男性・若者・学生・同年・疎								+	+	+	+	+	+			
4. 男性・若者・学生・年下・疎								+	+	+	+	+	+			
39. 女性・大人・医者・年下・親				+	+			+	+	+	+	+	+			+
41. 女性・大人・医者・同年・親				+	+			+	+	+	+	+	+			+
28. 女性・若者・学生・年下・疎								+	+	+	+	+	+			
30. 女性・若者・学生・同年・疎								+	+	+	+	+	+			
34. 女性・大人・サービス・年下・疎								+	+	+	+	+	+			
17. 男性・大人・医者・同年・親								+	+	+	+	+	+			+
12. 男性・大人・サービス・同年・疎								+	+	+	+	+	+			
7. 男性・若者・学生・年上・親						+		+	+	+	+	+	+	+	+	+
15. 男性・大人・医者・年下・親								+	+	+	+	+	+			+
37. 女性・大人・サービス・年上・親								+	+	+	+	+	+	+	+	+
36. 女性・大人・サービス・同年・疎								+	+	+	+	+	+	+	+	+
13. 男性・大人・サービス・年上・親								+	+	+	+	+	+	+	+	+
45. 女性・老人・サービス・年上・親								+	+	+	+	+	+	+	+	+
14. 男性・大人・サービス・年上・疎									+	+	+	+	+	+	+	+
21. 男性・老人・サービス・年上・親										+	+	+	+	+	+	+
32. 女性・若者・学生・年上・疎										+	+	+	+	+	+	+
38. 女性・大人・サービス・年上・疎										+	+	+	+	+	+	+
22. 男性・老人・サービス・年上・疎										+	+	+	+	+	+	+
46. 女性・老人・サービス・年上・疎										+	+	+	+	+	+	+
8. 男性・若者・学生・年上・疎										+	+	+	+	+	+	+
43. 女性・大人・医者・年上・親									+	+	+	+	+	+	+	+
42. 女性・大人・医者・同年・疎										+	+	+	+	+	+	+
16. 男性・大人・医者・年下・疎										+	+	+	+	+	+	+
44. 女性・大人・医者・年上・疎										+	+	+	+	+	+	+
18. 男性・大人・医者・同年・疎										+	+	+	+	+	+	+
19. 男性・大人・医者・年上・親										+	+	+	+	+	+	+
40. 女性・大人・医者・年下・疎										+	+	+	+	+	+	+
20. 男性・大人・医者・年上・疎										+	+	+	+	+	+	+
47. 女性・老人・医者・年上・親										+	+	+	+	+	+	+
23. 男性・老人・医者・年上・親										+	+	+	+	+	+	+
48. 女性・老人・医者・年上・疎										+	+	+	+	+	+	+
24. 男性・老人・医者・年上・疎										+	+	+	+	+	+	+

図-3 パタン分類 (日本語)

	1. Paquito	2. Paqui	3. Paco	4. Francisco	5. Pérez	6. Sr. Pérez	7. Don Francisco	8. ¿A dónde vas?	9. ¿A dónde va?	10. ¿A dónde va usted?
1. 男性・子供・なし・年下・親	+	+	+	+				+		
2. 男性・子供・なし・年下・疎	+		+	+				+		
3. 男性・若者・学生・年下・親	+	+	+	+				+		
4. 男性・若者・学生・年下・疎	+		+	+	+			+		
5. 男性・若者・学生・同年・親	+	+	+	+				+		
6. 男性・若者・学生・同年・疎			+	+	+			+		
7. 男性・若者・学生・年上・親	+		+	+	+			+		
8. 男性・若者・学生・年上・疎			+	+	+			+		
9. 男性・大人・サービス・年下・親			+	+				+	+	+
10. 男性・大人・サービス・年下・疎			+	+	+	+	+		+	+
11. 男性・大人・サービス・同年・親			+	+		+		+	+	
12. 男性・大人・サービス・同年・疎			+	+	+	+	+		+	+
13. 男性・大人・サービス・年上・親			+	+			+	+	+	+
14. 男性・大人・サービス・年上・疎				+		+	+		+	+
15. 男性・大人・医者・年下・親			+	+				+		
16. 男性・大人・医者・年下・疎						+	+		+	+
17. 男性・大人・医者・同年・親			+	+	+			+		
18. 男性・大人・医者・同年・疎						+	+		+	+
19. 男性・大人・医者・年上・親			+	+		+	+	+	+	+
20. 男性・大人・医者・年上・疎						+	+		+	+
21. 男性・老人・サービス・年上・親			+	+		+	+	+	+	+
22. 男性・老人・サービス・年上・疎				+		+	+		+	+
23. 男性・老人・医者・年上・親				+		+	+		+	+
24. 男性・老人・医者・年上・疎						+	+		+	+
25. 女性・子供・なし・年下・親	+	+	+	+				+		
26. 女性・子供・なし・年下・疎	+	+	+	+				+		
27. 女性・若者・学生・年下・親	+	+	+	+				+		
28. 女性・若者・学生・年下・疎	+		+	+				+		
29. 女性・若者・学生・同年・親	+	+	+	+				+		
30. 女性・若者・学生・同年・疎	+		+	+	+			+	+	
31. 女性・若者・学生・年上・親	+	+	+	+				+		
32. 女性・若者・学生・年上・疎			+	+	+	+		+	+	+
33. 女性・大人・サービス・年下・親	+		+	+				+	+	+
34. 女性・大人・サービス・年下・疎			+	+		+	+	+	+	+
35. 女性・大人・サービス・同年・親	+		+	+				+	+	+
36. 女性・大人・サービス・同年・疎				+		+	+	+	+	+
37. 女性・大人・サービス・年上・親			+	+		+	+	+	+	+
38. 女性・大人・サービス・年上・疎				+		+	+		+	+
39. 女性・大人・医者・年下・親	+		+	+				+		+
40. 女性・大人・医者・年下・疎						+	+		+	+
41. 女性・大人・医者・同年・親	+		+	+				+		
42. 女性・大人・医者・同年・疎						+	+		+	+
43. 女性・大人・医者・年上・親			+	+		+	+	+	+	+
44. 女性・大人・医者・年上・疎						+	+		+	+
45. 女性・老人・サービス・年上・親			+	+		+	+	+	+	+
46. 女性・老人・サービス・年上・疎						+	+		+	+
47. 女性・老人・医者・年上・親				+		+	+	+	+	+
48. 女性・老人・医者・年上・疎						+	+		+	+

図-4 平均のパターン (スペイン語)

SEL:3

	2. Paqui	1. Paquito	5. Pérez	3. Paco	8. ¿A dónde vas?	4. Francisco	9. ¿A dónde va?	10. ¿A dónde va usted?	6. Sr. Pérez	7. Don Francisco
1. 男性・子供・なし・年下・親	+	+		+	+	+				
3. 男性・若者・学生・年下・親	+	+		+	+	+				
5. 男性・若者・学生・同年・親	+	+		+	+	+				
25. 女性・子供・なし・年下・親	+	+		+	+	+				
26. 女性・子供・なし・年下・疎	+	+		+	+	+				I
27. 女性・若者・学生・年下・親	+	+		+	+	+				
29. 女性・若者・学生・同年・親	+	+		+	+	+				
31. 女性・若者・学生・年上・親	+	+		+	+	+				
7. 男性・若者・学生・年上・親		+	+	+	+	+				
4. 男性・若者・学生・年下・疎		+	+	+	+	+				
41. 女性・大人・医者・同年・親		+		+	+	+				
2. 男性・子供・なし・年下・疎		+		+	+	+				
28. 女性・若者・学生・年下・疎		+		+	+	+				II
8. 男性・若者・学生・年上・疎			+	+	+	+				
17. 男性・大人・医者・同年・親			+	+	+	+				
6. 男性・若者・学生・同年・疎			+	+	+	+				
30. 女性・若者・学生・同年・疎		+	+	+	+	+	+			
15. 男性・大人・医者・年下・親				+	+	+				
39. 女性・大人・医者・年下・親		+		+	+	+		+		
33. 女性・大人・サービス・年下・親		+		+	+	+	+	+		
35. 女性・大人・サービス・同年・親		+		+	+	+	+	+		
9. 男性・大人・サービス・年下・親				+	+	+	+	+		
32. 女性・若者・学生・年上・疎			+	+	+	+	+	+	+	
11. 男性・大人・サービス・同年・親				+	+	+	+		+	
13. 男性・大人・サービス・年上・親				+	+	+	+	+		+
10. 男性・大人・サービス・年下・疎		+	+		+	+	+	+	+	+
12. 男性・大人・サービス・同年・疎		+	+		+	+	+	+	+	+
19. 男性・大人・医者・年上・親				+	+	+	+	+	+	+
34. 女性・大人・サービス・年下・疎				+	+	+	+	+	+	+
43. 女性・大人・医者・年上・親				+	+	+	+	+	+	+
45. 女性・老人・サービス・年上・親				+	+	+	+	+	+	+
21. 男性・老人・サービス・年上・親				+	+	+	+	+	+	+
37. 女性・大人・サービス・年上・親				+	+	+	+	+	+	+
36. 女性・大人・サービス・同年・疎					+	+	+	+	+	+
47. 女性・老人・医者・年上・親					+	+	+	+	+	+
23. 男性・老人・医者・年上・親						+	+	+	+	+
38. 女性・大人・サービス・年上・疎		IV				+	+	+	+	+
14. 男性・大人・サービス・年上・疎						+	+	+	+	+
22. 男性・老人・サービス・年上・疎						+	+	+	+	+
40. 女性・大人・医者・年下・疎							+	+	+	+
24. 男性・老人・医者・年上・疎							+	+	+	+
42. 女性・大人・医者・同年・疎							+	+	+	+
18. 男性・大人・医者・同年・疎							+	+	+	+
44. 女性・大人・医者・年上・疎		V					+	+	+	+
16. 男性・大人・医者・年下・疎							+	+	+	+
46. 女性・老人・サービス・年上・疎							+	+	+	+
20. 男性・大人・医者・年上・疎							+	+	+	+
48. 女性・老人・医者・年上・疎							+	+	+	+

図-5 パタン分類 (スペイン語)

Comparación de las formas vocativas españolas y japonesas — Atributos del hablante, del interlocutor y sus relaciones —

Hirota UEDA

En este estudio presentamos una comparación de formas vocativas (formas de dirigirse al interlocutor) y las condiciones de su elección en los idiomas japonés y español, basándonos para ello en los datos obtenidos en una pequeña encuesta que hemos realizado.

Los factores que más influyen en la elección de las formas son la edad del interlocutor, su ocupación, su edad relativa comparada con el hablante y la proximidad entre las dos hablantes.

Comparadas las condiciones de la elección, resulta evidente que casi ninguna de las formas vocativas coinciden en la distribución de su uso, por lo que sería muy arriesgado proponer una correspondencia simple.

En la sección del análisis multidimensional, presentamos las observaciones siguientes:

1) Los japoneses usan las formas corteses hacia los de mayor edad, aunque sean muy conocidos, mientras que los españoles consideran más importante la proximidad.

2) En japonés tiene mucho peso la ocupación del interlocutor.

3) En japonés, hacia las mujeres se usan formas vocativas más corteses que en español.

4) Entre los estudiantes japoneses hay distinción de uso de las formas según la edad relativa y la proximidad. En español no se observan tales distinciones.

5) Hacia los ancianos, en japonés se usan las formas corteses, mientras que en español se determina principalmente por la proximidad, observándose además cierta influencia de la ocupación.

6) Hacia el personal de servicios, en japonés se determina según la edad relativa y la proximidad, mientras que en español no se hace esta distinción.